

みんながともに暮らせるまちへ

「心のバリアフリー」という言葉を知っていますか？

「心のバリアフリー」とは、障がいの有無や国籍・性別など、さまざまな心身の特性や考え方をすべての人が相手の気持ちになって考え、互いに支え合うことです。「共生社会」の実現に必要な考え方です。今回紹介した特徴や状態は、精神障がいのある人すべてにあてはまるものではありません。このほかにもさまざまな要因、症状、状態があります。

仮に、同じ症状や状態であっても人によって障がいのあらわれ方や程度が異なり、また、場面や状況によって困りごとが変わります。障がいへの思い込みや間違った認識での偏見をなくし、正確に障がいの特徴を理解することが大切です。また、コミュニケーションにおいては、相手が不安感をもたないよう穏やかな対応を心掛けることも必要です。

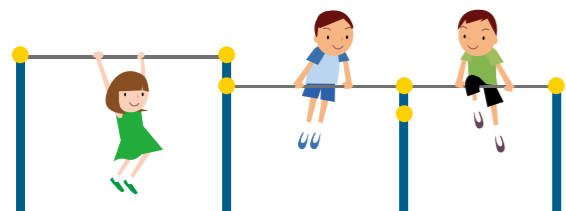


不安や悩み、気軽に相談を！

本市には、障がいのある人やその家族からの相談を受け、助言などを行う障害者相談員がいます。ひとりで悩まず、気軽に相談してください。

田川地区障がい者基幹相談支援センター

- 障がいのある人が住み慣れた地域で、安心して暮らせるようにさまざまな相談を受付けています。
- 障がいのある人の虐待に関する相談
 - 障がい福祉サービスの利用に関する相談
 - 権利擁護の相談
 - 暮らしに関する相談
 - 専門機関の紹介 など
- ☎23-0400、FAX23-0425
メール tagawa-kikan@gaea.ocn.ne.jp
受付：月曜日～金曜日 8時30分～17時15分（祝日・年末年始12/29～1/3を除く）
※ただし、障がいのある人への虐待に関しては、いつでも（24時間365日）相談を受付けます。



身体障がいに関する相談

- 身体障害者相談員
 - 藤光 若生 (☎090-8836-9747)
 - 菅 操 (☎44-1055)
 - 山本 律 (☎44-2908)
 - 関野 加織 (FAX 42-2000)*
- 聴力言語障害者生活相談員
 - 西川 慧子 (FAX 42-2000)*
 - ※高齢障害課のFAXを通じて相談
- 身障なんでも相談（身体障害者団体連絡協議会）
 - とき 毎月第4日曜日 9時30分～12時30分
 - ところ スマイルプラザ田川
- 聴力言語障害者生活相談
 - とき 毎月第2・4水曜日 13時～16時
 - ところ スマイルプラザ田川



知的障がいに関する相談

- 知的障害者相談員
 - ※主に発達障がいに関する相談に対応
 - 牛島実基子 (☎44-0394)
 - 本永 澄子 (☎42-5989)



本市には、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持っている人が延べ3,676人（令和3年度末時点）暮らしています。これは人口の約8.0%に相当します。この他にも難病や発達障がいなどにより、障害者手帳を持っていないでも何かしらの生活のしづらさを抱えている人もいます。近年は新型コロナウイルス感染症の影響で、新しい生活様式が求められ、これまでなかった困りごとに直面している人もいます。障がいのある人もない人も、すべての人が相互に人格と個性を尊重されなければなりません。本市では、障がいへの理解を深め、すべての人が安心して暮らせる共生社会の実現を目指しています。そこで今回の特集では、精神障がいの特徴や種類について紹介します。

「精神障がい」ってどんな障がい？

精神疾患により日常生活や社会参加に困難をきたしている状態のことです。何かしらの脳の機能的障がいなどが起こり、精神症状、身体症状、行動などに変化が見られます。症状の変化は、自身でも気づかないほど外見からは分かりにくいので、周囲から理解されにくい障がいです。

精神疾患の種類

精神疾患は種類によって症状が異なり、統合失調症、気分障がい、依存症などがあります。今回は主なものを紹介します。

統合失調症

- 発症の原因はよくわかっていないところがありますが、気持ちや考えがまとまりづらくなってしまったり病気がです。100人に1人程度がかかると言われ、健康なときにはなかった状態が表れる陽性症状と、健康なときにあったものが失われる陰性症状があります。
- 陽性症状

統合失調症の代表的な陽性症状は「幻聴」と「妄想」です。

【幻聴】実際にはないものがあるように感じる感覚で、自分の悪口やうわさが聞こえるなどの症状。

【妄想】いやがらせをされているといった被害妄想など、誤った内容を信じて訂正を受け入れられないといった症状。
 - 陰性症状

陰性症状には「意欲の低下」、「感情表現の減少」などがあります。例えば、趣味や楽しみにしていたことに興味を示さなくなったり、喜怒哀楽の表現が乏しくなり、他人の感情などへの理解が苦手になったりします。



気分障がい

気分の波が表れる症状で、代表的なものとして「うつ状態」と「躁状態」があります。

【うつ状態】精神的ストレスや身体的ストレスなどを背景に、脳がうまく働かなくなっている状態。何をしても楽しめないといった精神症状とともに、「眠れない」「食欲がない」「疲れやすい」といった身体症状なども表れます。

【躁状態】気持ちが著しく高揚して活発に活動したり、お金の使い方が荒くなったりします。この状態では気分が良いため、病気の自覚が本人にはありません。

依存症

日々の生活や人間関係などに悪影響を及ぼしながらも、特定の行動をやめられないといった自身でコントロールできない状態です。依存症には、アルコールなどの物質依存症やギャンブルなどの行動や習慣に関する行動嗜癖があります。これらは、特定の行動などを続けることで脳に変化が生じ、引き起こされる病気です。